



式中だより

387号

令和2年(2020年)

6月25日(木)

発行 式根島学園 式根島中学校

04992(7)0017

新しい生活様式

校長

約二ヶ月間の臨時休校期間を経て、今月より学校を再開することができました。生徒たちは休校期間中、御家庭での協力を得て毎日家庭学習に取り組みました。5月11日からはオンラインを活用した取組として、8:30から毎週月曜日の全校朝礼、火曜日から金曜日は学年の学活を行いました。モニター越しでしたが、生徒たちの笑顔を見ることができて安心しました。

生徒たちは毎日登校して、友だちと学び合い、話し、部活動に励む「当たり前の学校生活」の大切さを痛感したと思います。この当たり前の生活を取り戻しつつある今だからこそ、「新しい生活様式」として感染症対策と共に生活していくための取組が必要です。学校では生徒・教職員共に、健康観察・手洗い・マスクの着用を必須とし、教室では、座席の間隔を空けてこまめな換気と生徒下校後には消毒作業を行っています。

学校としてできることは多くはありませんが、できる限りのことに取り組んで、一日も早い「当たり前の学校生活」が戻り、元気に安心して登校できる日が来ることを望んでいます。

よりよい式根島小中一貫校に向けて

式根島の風

「保小中合同行事(運動会・学芸会)について」

新型コロナウイルス感染症拡大防止による休校措置に伴い、以下のように保小中合同行事を変更します。毎年楽しみにされている方もいらっしゃると思いますが、御理解いただきますようお願いいたします。

【運動会】10月3日(土) 土曜授業の一環として、保小中合同で小規模実施(内容は調整中)

【学芸会】中止 各園・校で学習発表会として小規模実施(内容は調整中)

歯科保健について

養護教諭

歯には3つの大切な働きがあります。それは、食べること、話すこと、表情をつくることです。けがをしても傷は治りますが、歯は、失うと2度と取り戻せません。そのため、普段から丁寧な歯磨きで健康な歯を維持することが大切です。

健康な歯を保つと、生涯、食べ物を美味しく噛んで食べることができます。歯が手入れされている人の笑顔は、とても素敵に見えます。また、上下の歯を合わせることで、さ行やた行を上手に発音することができます。

このように、私たちの生活は健康な歯に支えられています。ご家庭でも、毎日のブラッシング方法やフロスの使用などについて見直し、お子様の様子を時々気にかけていただくと幸いです。



7月の予定

生活目標 : 1学期の生活目標を振り返ろう
保健目標 : 夏を健康に過ごそう
給食目標 : 郷土料理を知ろう

『式中だより』は、毎月25日をめどに発行していきます。

1	水	安全指導		20	月	定期考査 I	
2	木	復習確認テスト(9年生)	SC	22	水	保護者会	
3	金		SC	23	木	海の日	
7	火	生徒委員会		24	金	スポーツの日	
13	月	生徒朝礼 連携連絡会		27	月	ふれあい面談始	SC
16	木		SC	28	火		SC
17	金	定期考査 I 避難訓練 英検	SC	29	水	三者面談(9年生)	
18	土	土曜授業(3時間授業 給食なし)		30	木	大掃除	
		定期考査 I		31	金	1学期終業式 職員会議 ふれあい面談終	

離任者より

式根島を離れて2ヶ月。世の中の大変な対応に追われ、気がつけば木々は萌黄色や青竹色からあっという間に青葉色に変わり、夏を感じる季節となってしまいました。そんな中ふと思出すことがあります。神引からの雄大な景色、大浦で見た幻想的な夕陽、芝生のきれいな校庭、そして式中のみんなの素敵な笑顔。どれも大切な思い出で、写真を見るたび懐かしくて日々の疲れを癒してくれています。式根島で見た景色や笑顔は、これからどんなに世の中が進化したり大人に成長したりして変わっていても、今と変わらずに輝いてほしいと願う私にとってかけがえのない大切なものです。

副校長

式根島中学校の皆さん、お元気ですか？

年度が明けて新生活スタート！と思った矢先、再び休校になってしまいましたね。3月の休校から数えると約3ヶ月間、先の見えない毎日に不安もあったことでしょう。私はこちらの学校に赴任して、始業式・入学式を終えてからの2ヶ月間、生徒に会えずにいました。それもあってか、休校期間中に最初に思い出すのは、いつも式根島中学校の皆さんのことでした。100年に一度と言われる出来事を乗り越えようとする中で、温かい式根島の方々との思い出が私の心の支えになっています。

まだまだ先の見えない日々が続きますが、一緒に乗り越えていきましょう。少しでも早く式根島にも日常が戻りますように。そして皆さんの健康を願っています。

養護教諭

6月より分散登校という形で学校が再開し2週間経ちました。始業式、3年3組の生徒は島から来た先生が担任だと発表され驚きを隠せない様子でしたが、その日以降休校となってしまいました。生徒たちは休校の間、担任がどんな人物か分からないまま2ヶ月を過ごしていたのでさぞ不安だったろうと思います。6月に入りやっと生徒たちと関わることができるようになりました。まだ2週間で数日程度しか関わっていないものの、式根島の生徒に負けず劣らずの素直で個性的な子ばかりで、毎日忙しいながらも楽しく過ごしています。生徒一人ひとりとの二者面談は、相変わらず脱線を繰り返しつつ、15分で収まりきらずにあっという間に終わりました。

この2ヶ月間は、式根島の様子や児童生徒はどうなっているだろうかと気にせずにはいられない期間でもありました。今回の困難に負けずに式根島が発展し、児童生徒たちが強く逞く成長してくれることを切に願っています。今後、児童生徒や島民の方々笑顔で再会できる日を楽しみにしています。

数学科

式根島での6年間

3月末に家族共々6年間お世話になった式根島を去って、もう3ヶ月が経とうとしている。こちらでの新しい生活はコロナの影響でゆっくり、静かに、しかし大変緊張感のあるスタートとなった。生まれて初めて、校庭での青空始業式、入学式を経験したが、その後はすぐに休校。6月に入り、ようやく分散登校が始まり、15日から通常の登校も開始された。学校が始まると、忙しい毎日が目まぐるしく過ぎ去っていく。

こちらの暮らしは便利だが、私たちにとっては自然に囲まれ、のんびりした式根島での生活の方が合っていたようだ。もともと、美しい海や自然に囲まれた環境で、しっかりと子供に向き合って、子育てをしたいということもあり、島での勤務を希望した。式根島の環境は、貴重な子供時代を過ごすには最高の環境だったと思う。保育園、小学校、中学校が文字通り連携し、大切に子供たちを育てていた。私自身も島の中学生一人ひとりもしっかり向き合い、濃密な時間を過ごすことができた。

もちろん地域の方々にも家族全員が支えられ、大変お世話になった。式根島での大切な方々との出会いは、式根島の思い出と共に、澁江家の家族一人ひとりにとって一生の宝物となるだろう。

最後になりますが、式中の生徒の皆さんへ。長い間本当にありがとう。先の見えない状況が続きますが、ブレずにしっかり自分の将来を見据えて頑張ってください！遠くからですが、ずっと応援しています。

英語科

波ようねりよ

美術科

図画工作科や美術科の授業では、「今度の授業で使いたいものを、身の回りから集めてこようね」と、子供たちに宿題を出すことがあります。木の枝や落ち葉、松ぼっくり、流木、不思議な模様の石、貝殻、石白川海岸の白砂、シーグラス…様々な、式根島の自然に溢れる宝物を集めてきてくれます。子供たちが想像力を働かせて、「これは制作に使えるぞ！」と、様々なものを集めてくる姿を見ていると、自然の豊かな式根島で、図画工作や美術の授業を通して、子供たちと学ぶことができ、とても幸せだと感じます。身近にある豊かな自然に触れながら、発想したり、作品を創造したりすることができる環境に感謝をして、今後の授業でも、さらにこの場所ならではの、子供たちの想像力を生かした学びの機会をつくっていききたいと思います。

※カラー版の式中だよりはホームページでご覧ください。